

1. 研究主題 「総合的な学習の時間」の授業づくり

2. 研究目標

移行期における「総合的な学習時間」の授業づくりを行い、児童が自ら学び、自ら考える力を育てるための支援のあり方を追求する。

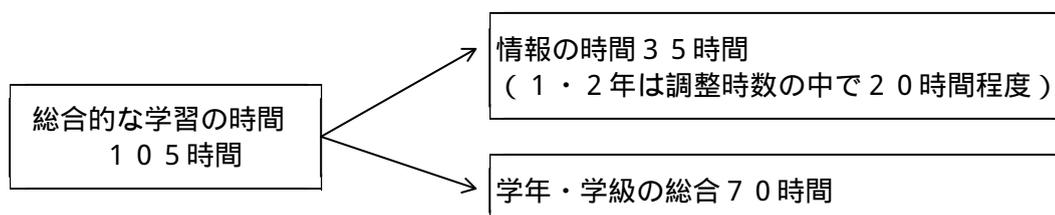
3. 研究仮説

各学年において育てたい力を明確にし、児童の思いや願いを生かした活動を行えば、黒松小にあった「総合的な学習の時間」を見つけることができるであろう。

4. 総合的な学習の時間で育てたい力

	(高学年)	(中学年)	(低学年)
問題を発見し、解決していく能力	課題を吟味し、よりよい解決の仕方を試行錯誤することができる	課題を見つけ、自分なりの方法で解決することができる	自分なりの活動に取り組み、めあてを達成することができる
表現力、コミュニケーション能力	目的に応じた表現方法を工夫し、伝え合うことができる	いろいろな表現方法を工夫し、伝え合うことができる	自分なりの方法で表現し、伝え合うことができる
他人や社会とかかわる能力	いろいろな人々と積極的にかかわり、社会の一員としての自覚を持った活動ができる	学校や身の回りの人たちと積極的にかかわり、他の人を意識した活動ができる	学級の友達や先生と進んでかかわり、相手を意識した活動ができる
情報、資料活用能力	自分の課題解決のために、多くの情報の中から必要な情報を取捨選択し、活用することができる	自分の課題解決のために、いろいろな方法で情報を集め、役立てることができる	学校や地域の人たちから、進んで聞いたり教えてもらったりして、調べることができる
自己評価能力	学習を振り返り、今後の学習や行動を調整することができる	学習を振り返り、その後の活動に生かすことができる	活動をふりかえり、わかったことやできるようになったことに気づくことができる

5. 総合的な学習の時間の運用



6. 各学年の取り組み

1・2年（生活科）

テーマ「わくわく どきどき なかよしタイム」
～ 異学年交流を中心とした活動の取り組み ～

・人とのかかわりに重点を置き、かかわりを広げていく中で、相手を思いやる気持ちや児童のコミュニケーション能力の育成を図ることをねらいとしている。主として生活科の中で合同で取り組める共通の単元を洗い出し、1・2年合同で計画し協力して活動を進める場を設定する。「昔の遊びを楽しもう」では、外国の方や「老人憩いの家」の方を招いての交流も予定している。



3年

テーマ「広げよう、わたしたちの黒松マップ」
～ 3年生、黒松小の学区探検隊 ～

・市民センターや生協の見学など社会科の学習の発展として、自分たちの住む学区全体を学習の場とし、調査活動を行っている。歴史的な事柄に関しては、学区内のことに詳しい方をボランティアティーチャーとして呼び、当時の様子を話してもらう機会を設けた。また、「課題づくり」「課題解決」「まとめ・発展」といった問題解決学習の基礎を養うこともねらいの1つとして取り組んでいる。



4年

テーマ「探ろう地球！今、ぼくらにできること」

・理科、社会科の発展として「環境学習」に取り組んでいる。浄水場や清掃工場の見学、太陽光パネル（仙台市教育センターより借用）を使った調査活動等を行い、環境に関する課題づくりへと発展的させる。特に課題づくりの場面では、「自分にできることはないか」といった視点を与え、課題の解決と同時に、その後の実践活動へとつなげていく。



5年

テーマ「チャレンジ バケツでの米作り」
～ NHK 放送番組や学習ソフトを活用した問題解決学習と情報発信に挑戦 ～

・JA の方の支援を受けながら、バケツ稲栽培に取り組んでいる。同時に今年度新たにスタートした NHK の放送番組とその Web ページを活用し、稲を育てる中ででてきた課題の解決やインターネットを通じて他校との交流学习へと発展させる。また、成長記録はコンピュータを使ってまとめ、デジタルポートフォリオとしての活用や、Web への情報発信等につなげていく。



6年

テーマ「チャレンジ 仙台歴史・文化マップづくり」
～ 2002年仙台で行われるサッカーW杯に訪れる人たちに仙台の歴史・文化を教えよう ～

・仙台にある歴史・文化的な史跡や文化財・記念碑・資料館をテーマに沿って調査活動を行い、歴史・文化マップにまとめる。調査活動は、4回の現地見学や聞き取り調査を中心に、図書資料、インターネットを活用して行っている。まとめのマップは、ガイドブックとして活用できるよう印刷製本するものと、Web ページによる情報発信と2通り計画している。



特殊

「マックス号に夢をのせて」
～ ぼくらのマックスから みんなのマックスへ ～

・特殊学級児童2名が共通の興味・関心を示す「新幹線マックス」を年度のテーマとして取り上げ、マックスに関する様々な調べ学習、表現活動を進める中で、各教科の基礎基本、主体的な学習態度の育成を図る。また、「まつのみまつり」を学習成果の発表の場とし、全校児童、保護者、地域の方々等より多くの人とのかわりを深めさせ、コミュニケーション能力の育成を図る。



7. 情報教育

「学校だより7月号より一部抜粋」

こんなことやってます！ パソコン室から



今年度より本校の総合学習の重点の一つに「情報の時間」を据え、どの学年も年間35時間（1・2年20時間程度）コンピュータ学習を行っています。今月は、これまでの各学年の学習の様子をご紹介します。

【1年生】

今は、CAI（学習支援）ソフトを使い、算数の計算や国語の勉強もしています。

- ・コンピュータの起動と終了
- ・マウスの基本の操作
- ・簡単なお絵かき



はじめての授業

【2年生】

国語の授業と関連させ、簡単な文字入力の方法を勉強しています。

- ・デジタルカメラの基本操作（撮影とテレビへの出力）
- ・作品の呼び出し
- ・絵を友達に送る

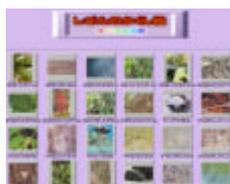


文字入力の学習

【3年生】

国語「自然のかくし絵」をもとに、デジタル図鑑を作ったクラスもあります。

- ・作品の保存・呼び出し
- ・文字入力・文書の作成
- ・簡単なカットの貼り付け
- ・メールで友達に感想を送る



デジタル図鑑

【4年生】

現在、理科と関連させ、デジタルカメラで撮影した植物の観察記録を作成中です。

- ・デジタルカメラの基本操作
- ・キーボードでの文字入力
- ・メール操作の基礎
- ・インターネット



詩の入力（レイアウトやカットを工夫して）

【5年生】

総合学習で取り組んでいる「米作り」の観察記録をコンピュータでまとめています。

- ・インターネットの活用（有害情報・ネット犯罪）
- ・メール操作とマナー
- ・画像データの貼り付け
- ・目的にあった資料作り



お米の観察記録

【6年生】

主に調べ学習の道具として活用。自分にとって必要なデータを選択し、それを加工する力も備わってきました。

- ・インターネット検索（有害情報・ネット犯罪）
- ・画像の加工・発表資料作成
- ・メール操作とマナー



調べ学習のまとめ